

# 海と共に

## 昨年度決算、松本洋一理事長に聞く

総代会で議決した昨年度事業の決算と本年度事業計画のポイントを松本洋一理事長に説明してもらった。これから検討される韓国のホヤなどの禁輸問題についても方向性を聞いた。



昨年度の決算の状況について説明する松本理事長

## 剰余金1.7億円計上

### 量販店に養殖加工品提供へ

#### 組合総代会



④石巻市の河北総合センターで開いた通常総代会 ⑤あいさつで組合員に感謝を述べた丹野一雄会長



当組合は6月28日、通常総代会を石巻市の河北総合センターで開催した。昨年度は事業利益が7年ぶりに赤字に転じたが、1億7千万円の剰余金を計上したと報告。本年度は引き続き販売力強化に力を入れるとともに、新たにASC認証の積極的な取得や養殖物加工品の量販店への販売などを計画。丹野一雄経営管理委員会会長はあいさつで、震災特例優先出資消却などに対する組合員の努力と協力に感謝するとともに、理事会制度移行に触れた。

昨年度事業報告、本年はいずれも原案通り決定。事業計画などの10議案を一した。

つた平成23年度以来、7年ぶりとなる。受託販売取扱高が前年度比約45億円減の297億8100万円となったことが大きい。仙台港での重油流出事故に伴うノリと、貝毒規制の長期化によるホヤ

## 理事会制度移行を準備

丹野会長は総代会冒頭にあいさつ。当組合の悲願となっていた震災特例優先出資66億8千万円の消却を報告。この消却と昨年度の剰余金について、組合員の努力と協力を挙げ謝意を表した。

理事会制度移行に触れ、健全な組合運営のための業務改善、経営改善、組織改正等の見直し

昨年度は事業利益が赤字に転じ約770万円を計上。大震災のあ

だが、事業外での収益や、公共事業に関する移転により行った固定資産の処分に係る特別利益があり、結果、剰余金1億7千万円を計上できた。一方、本年度は引き続き

## 菊地伸悦氏に栄誉

### 旭日双光章、功績に光



菊地伸悦氏

長年にわたる水産業振興の貢献が認められ、当組合の前経営管理委員会会長菊地伸悦さん(74)が本年春の旭日双光章を受章した。5月29日、農林水産省講堂で勲章と勲記を受け取った。「大変ありがたい。素直にうれい。皆さまの力添えがあつてこそこの受章」。喜びの中に周囲への感謝をにじませる。

経営管理委員会の会長を務めたのは平成23年7月から3年間。当時は震災復興の真っただ中。組合内に設置した対策本部で組合員の生活再建に全力を尽くすとともに、行

き、販売力の強化に尽力し、漁家経営の安定化と所得向上をけん引、支援する。付加価値と知名度のアップに向け国内外でさまざまな取り組みを実践していく。

新たに、研究機関と連携し健全な種苗生産に向けた体制に取り組み。昨年度にワカメ種苗が不足したりギンザケ稚魚が死滅し、種苗の問題があらためて重視されたりしたためだ。また、カキで広がりを見せるASC認証

の積極的な取得も挙げり、齋藤孝正氏と吉田信幸氏の経営管理委員就任が決まった。齋藤氏は気仙沼地区支所運営委員長で、理事長に就き経営管理委員を外れた松本洋一氏と入れ替わった。

## ノリ被害と貝毒響く

### 自己資本比率低下も心配なし

昨年度は事業利益が赤字に転じ770万円出ましたね。それでも1億7千万円の剰余金を計上できました。

松本洋一理事長 事業利益が赤字となった原因は、仙台港における油流出事故でノリの生産に甚大な被害が発生し取扱減

となったから。また、ホタテ、アカガイでまひ性貝毒の発生が広域化、長期化した影響も大きい。イサガ、コウナゴなどの漁船漁業も振るわなかった。生産する組合員が厳

末より18歳余りも下がった理由は、その影響、心配など。

松本理事長 自己資本比率の低下は、震災特例支援の乙種優先出資66億8千万円を消却したため。織り込み済みで、組合

の健全性を判断する上で、組合の生産物の販売力強化に向けた取り組みを引き続き推進し、ブランド化や販路拡大にも力を入れる。

冷凍加工品の販売で、これまでの取り引きによる不祥事の発生原因となる

最後に韓国のホヤなどの禁輸問題。世界貿易機関(WTO)が禁輸

松本理事長 まず、組合員の生産物の販売力強化に向けた取り組みを引き続き推進し、ブランド化や販路拡大にも力を入れる。

冷凍加工品の販売で、これまでの取り引きによる不祥事の発生原因となる

最後に韓国のホヤなどの禁輸問題。世界貿易機関(WTO)が禁輸

#### 菊地伸悦氏の略歴

昭和63年～平成19年	南きくしん代表取締役
平成10～16年	巨理町観光協会理事
12～15年	巨理町漁業協同組合理事
14～29年	宮城県産地魚市場協会理事
15～19年	巨理町漁業協同組合理事
15～18年	宮城県信用漁業協同組合連合会理事
16～29年	巨理町観光協会副会長
18～19年	宮城県信用漁業協同組合連合会代表理事
19～29年	宮城県漁業協同組合仙南支所(巨理)運営委員長
19～23年	宮城県漁業協同組合経営管理委員会委員
19年～現在	宮城県内水面漁業協同組合連合会理事
20年～現在	宮城県漁業信用基金協会理事
23～26年	宮城県漁業協同組合経営管理委員会会長
24～26年	全国漁業協同組合連合会理事
26～29年	宮城県漁業協同組合経営管理委員会委員
29年～現在	宮城県漁業協同組合仙南支所(巨理)運営委員
平成22年	全国漁業協同組合連合会会長表彰(漁協運動功労)
27年	宮城県知事表彰(産業功労)
同年	大日本水産会会長表彰(水産功績者)

「被害を目の当たりにしたとき、宮城の漁業はもう駄目だと思った。今の復旧・復興があるのは、組合員全員が『もう一度海に戻ろう』と気持ちを一つにした成果。国や県も多大なりリーダーシップを発揮してくれた」

震災を振り返る。復興のスピードを「速かった」、現状を「十分」と評価。笑顔を見せる。

一方で、今最も頭を悩ます課題が組合員の高齢化と後継者不足。「上に立つ者が漁業を将来性ある産業に生まれ変わらせないといけない。計画を実行に移し、成し遂げなければ意味がない」と強調する。自らの性格を

を事実上承認したのを受け、農水省などは支援策として欧州連合(EU)、米国への輸出や魚種転換などを打ち出しました。

組合の対応は。

松本理事長 農水省などの支援策はまだ具体案が示されておらず、示されたら県ともに対応を協議していく。

まずは、東京電力などの補償交渉が第一優先だ。逸失利益の賠償はWTO敗訴の前に本年度100%、来年度50%で東電と合意済みだが、来年度分も含め今後について再交渉を要請している。





鳴瀬支所・渡辺允浩さん



# カキ採苗に熱意、さらなるおいしさも

殖は祖父の代からなので3代目。カキの幼生調査。プランクトンネットで水を取り、顕微鏡で計測して採苗適期を探るの

いかにどうか、ベテランの人に見てもらおうとを繰り返して学んでいる。この時期の海の中ではたかさんの貝が放卵するから、カキの幼生を判別するのはなかなか難しい

「自然のことなんて、その年によって全然違う。毎年考えながらやるのは楽しい。例えば、美味しいと、気負ったとこ

「鳴瀬のカキは甘みが強い」とカキは自信たっぷり。カキは浜によって味が違っていて、風味が強いところ、塩気が強いところなどあるけれど、ここは甘さの後味が残るほど。鳴瀬川や北上川といった大きな川が山からの栄養を豊富に運んでくるからだと思います。この地区に後継者が多いのは、いいカキが採れるからじゃないか、とカキさん。

うと卒業後すぐに家業を継ぐことにした。「それまで父も継ぐとは思っていませんでした。今ではすっかり体調も回復した父・茂さんと共に海に出る。カキ養

は、父も青年部でやってきたし、自分もやはり青年部でやってきた。でも個人的にも勉強したくなり、顕微鏡を購入して、自分がカキの幼生と特定したものが本当に正しいかどうかをチェックした

「もっともっというカキを作りたい。先輩方がここまでいいカキを作れるようにしてくれ、それを超えるのは難しいかもしれないけど、何かもっとうまいカキがあるんじゃないかな」とカキさん。

# 年金は組合がお得 推進キャンペーン展開中

## 組合からのお知らせ

## 信用共済部

当組合は年金推進キャンペーンを展開中、お得な特典を用意しています。

すでに年金の受け取りを組合口座に指定している方には全員に、誕生月に素敵なプレゼントをご用意しています。新たに口座指定の手続きをされた方には組合独自のグルメギフトカタログをプレゼント。



**ご紹介**  
年金お受取口座  
新規指定者 キャンペーン

キャンペーン期間 2019年4月1日(月)~2020年3月31日(火)

ご紹介いただいた方  
ご紹介された方お2人に  
**1,000円分**を  
プレゼント!

キャンペーン概要

- 対象者: キャンペーン期間中に、①年金をお受取りになる方で新たにJF口座を指定していただいた方、②既に他金融機関でお受取中の年金口座を新たにJF口座へ変更していただいた方、いずれかに該当するお客様。
- 応募方法: 年金ご紹介カード(チラシ裏面)に必要事項をご記入の上、お近くのJFご利用窓口までお越し下さい。
- 景品の提供時期: 新規指定手続き完了確認後、順次景品を発送またはお届けいたします。

※キャンペーン対象となる年金の種類は、原則的に年金(国民年金、厚生年金、共済年金)に限ります。  
※景品の提供は、当組合の口座指定が完了した方のみとなります。景品提供終了後は、ご指定いただいた方へお送りいたします。  
※ご利用窓口は、JF各支所(支店)の窓口となります。また、お申し込みの際は、必ずお申し込みの旨をお知らせください。  
※お申し込みは、必ずお申し込みの旨をお知らせください。また、お申し込みの旨をお知らせください。  
※キャンペーンの詳しい内容は、お近くのJFご利用窓口までお問い合わせください。

JF マリンバンク 宮城県漁業協同組合  
宮城県センター(宮城県組合支所) 0226-26-4720  
石巻センター(石巻組合支所) 0225-24-1145  
塩釜センター(塩釜組合支所) 022-361-9210



キャンペーンチラシ(左)とプレゼントの桐箱入り高級今治タオル

# ホンガレイ増殖に力 七ヶ浜など4支所が放流



本県で期待の高まる高級魚ホンガレイの増殖漁種育苗生産は昨シーズンと同じ水産研究所(宮古市)で、(若手県宮古市)50ヶ前後に育った稚魚を5月下旬を中心に、七ヶ浜支所が1万5千尾、寄磯と志津川両支所が各2万尾、唐

「大きく育ってね」と笑顔で放流する七ヶ浜町の児童

また、紹介により新規に口座指定し受け取りを開始される方と紹介者の

お2人にクオカード千円分を進呈します。詳しくは、今回同封のチラシをご参照のうえ、お近くの信用窓口でご確認ください。

お2人にクオカード千円分を進呈します。詳しくは、今回同封の

初放流されたのは7月4日の七ヶ浜支所の約2千尾。一足早く放流サイズの80mmに育った。地元小学校2校の児童111人が同支所花浜漁市場の岸壁から「大きくなつてね」などと笑顔で放した。来年秋に本県で初開催される「全国豊かな海づくり大会」のPRを兼ねたりレリー放流の1回目となった。

### 【1面参照】

当該事業年度および直前3事業年度の事業成績ならびに財産および損益の状況

(平成30年度業務報告書から。単位:千円)

区分	項目	27年度	28年度	29年度	30年度
財務	事業利益	556,722	244,326	323,194	△7,698
	経常利益	811,000	377,295	449,019	134,845
	当期剰余金	834,958	555,396	651,900	169,991
	総資産	109,880,892	109,252,170	103,574,611	98,478,192
	純資産	11,447,630	11,946,828	12,443,720	5,808,026
	単体自己資本比率	28.81%	30.26%	32.48%	14.31%
信用事業	貯金	92,721,165	92,263,263	86,308,772	87,946,398
	預け金	80,440,457	82,880,638	77,530,796	73,773,666
共済事業	貸出金	16,854,709	15,284,635	14,720,495	12,720,483
	長期共済保有高	72,957,588	68,660,320	64,750,420	60,704,297
購買事業	短期共済契約高	43,468,430	48,678,730	49,820,690	48,310,810
	石油類供給高	2,963,584	2,757,413	2,845,406	3,525,895
販売事業	資材類供給高	6,304,287	5,993,511	5,185,067	4,343,394
	受託販売取扱高	30,413,609	32,567,771	34,279,895	29,781,256
	買取販売高	2,242,281	2,274,777	1,987,269	955,743

も早いと聞いている」と話し、育成管理に尽力。放流、増殖で「資源を増やし、出荷を安定させた」。漁業者の所得向上につなげれば」と期待を込める。

80mmで放流すれば、2年程度で漁獲サイズの30

「収入にも波があつて、種の不作や水揚げが落ちるときは大変な思いです。この全体への思いは、浜に届ける思いは、浜全体への思いだ。とにかく不作にならないよう、不作の年でもとにかく全員が種を採れるような調査をしたい」と繰り返す。

# 経営安定、後継者にも魅力の海



気仙沼総合支所 地域・経済センター 3つの総合支所のうち、北部の唐桑から志津川までの5支所を統括する。管内の正組合員数1276人、准組合員数3085人。職員は地域センター3人、経済センター15人。取扱高は平成30年度で購買(石油・資材)約37億2000万円、販売他約81億3100万円。

## 豊かな養殖採介藻

県北部、唐桑・気仙沼地区・大谷本吉・歌津・志津川の5支所を管轄している。5つといっても唐桑を除く4支所は合併支所のため大所帯。ワカメ、カキ、ホタテ、ホヤ、そして志津川と戸倉のギンザケなどの養殖のほか、アワビ、ウニなど天然の採介藻も多く、漁船漁業も盛んだ。

## 漁業形態がどの支所も

だいたい似ている。「カレシ」通りに一緒に動く、と歌津支所の運営委員長でもある高橋一郎が言う。「だから生育状況や沖の様子など、情報交換も早いんですよ。どの支所も経営は安定している」と喜ぶ。

## 洋の「外抜」などと分けて

上場している。今季は当初、種苗が足りなかったが最後に驚くような勢いで盛り返し、特に外洋ものの成長が良かった。おまけに値段も上がり、心配していた人々も胸をなでおろしている。

## 購買事業の特徴は油を

積むバッシ船を持つこと。カツオ船やサンマ船、遠洋漁船、養殖漁業者にも供給している。

## 「漁業者は比較的多いのも、この

地区の特長。漁業者は減ったが、その分漁場が空き、後継者も参入でき、規模も拡大できるようになった。収入もアップし、魅力ある仕事になる。

## 「漁協は本来、地域社会

の情報のたまり場。そこを十分に利用してほしい。自分がどう進んでいったらいいか迷ったとき、困ったときにこそ訪れる場所だから。」



高橋一郎運営委員長



菊田智之支所長



吉川弘次長

## 気仙沼総合 地域・経済センター

## 支所を訪ねて

## 気仙沼地区

齋藤孝正運営委員長



佐々木敏則支所長



## 密殖改善、量より質

気仙沼の階上、大島、鹿折、松岩の4地区が統合。コンブとワカメの養殖を中心に、カキも評価が高い。階上と大島を除き、養殖漁場の8割は内湾で、川が山の恵みを運ぶ漁場であり、それを大

## 切にしながら養殖を行っ

ていると齋藤孝正運営委員長は言う。震災後どの養殖種も漁場再編をして密殖が改善され、量より質を重視するようになった。「内湾の人たちは2種以上の養殖をしているのがこの昔からの特徴」と佐々木敏則支所長

## 東京でもカキ高評価

身入りのいいカキは評価が高く、階上からはむき身中心に多くが東京へ出荷されている。地元共販がメインであった大島も最近では東京にも行くようになった。ほとんどの生産者がもう何十年も前から温湯処理を行い、手をかけて身入りのいいカキを育ててきた。「わざわざブランド化しなくても、気仙沼産という内湾の良質のカキと認識されていると思う」と齋藤委員長は自信をもつ。

## 「外抜」などと分けて

いる志津川産、ASC認証の戸倉産、温湯処理も行い大粒の身を作る気仙沼地区産など特徴があり、豊洲市場向けられるものもけっこうある。購買事業の特徴は油を積むバッシ船を持つこと。カツオ船やサンマ船、遠洋漁船、養殖漁業者にも供給している。

## また、組合員のなかに

は実際に漁業をやっていない人も、漁協の応援団のような形で組合員として出資し協力してくれている。若い人たちが多く、と吉川次長は言う。「漁業者だけの漁協じゃなくて、地域の漁協というイメージは強いんですよ」。

## 支所にもよるが、後継

者が比較的多いのも、この地区の特長。漁業者は減ったが、その分漁場が空き、後継者も参入でき、規模も拡大できるようになった。収入もアップし、魅力ある仕事になる。

## 助け合い、支え合う

手。ここ数年は非常に厳しい。死滅に関しては地種を使用することが多いのがやや救いだ。出荷規制がかかるとう予定の水揚げが延び、ほかの養殖種と仕事をだぶって優先順位に頭を痛める場合も。収入面でも、「いちばん売りたいときに出荷できないのは厳しい」と佐々木支所長。

## 若者に魅力と安定を

ここでも課題は後継者。息子が帰ってきてても、養殖では漁場の問題もあり、父一人の場合の倍稼げるというものでもない。「組合員のだからが

## 「ほや祭り」大盛況 ホヤをもっと身近に、おいしく

5月3日、宮城げんき市「ほや祭り2019」が仙台勾当台公園で開催されました。10連休のさなか、五月晴れに恵まれ、多くの家族連れなどでにぎわいました。ホヤのPRと需要喚起を目的に昨年に続く2回目の開催。ほやレシピグランプリなどステージイベントのほか、当組合ブースではホヤ釣りのアトラクションを用意して、大人も子供も楽しみながらホヤに親しみました。キッチンカーも出動し、みやぎ銀ざけ協議会が銀ざけの押しずしのお弁当を販売しました。来場者は1万1144人で昨年より500人余り多く、盛況でした。ホヤ料理を中心とした飲食ブースの売り上げは657万円となり、昨年を100万円以上上回りました。

オープニングセレモニーには丹野一雄経営管理委員会会長、実行委員会会長として松本洋一理事長も参加した



ホヤを見るのも初めての人も多く訪れた当組合ブースのほや釣り